

家庭教育だより

中学校版

八千代市では、子どもの発達段階に応じた保護者向けの家庭教育講演会を実施するなど、家庭教育の推進に取り組んでいます。

令和7年4月

発行 八千代市教育委員会生涯学習振興課



ご入学・ご進級おめでとうございます！

新しい一年が始まりました。お子さんの様子はいかがでしょう。

新入生は、中学校という未知の世界に飛び込み、ドキドキとワクワク感の入り混じる中、少しずつ自分なりのペースがつかめてきたところでしょうか。将来、まだまだ多くの“初めての世界”に遭遇する若い彼らへの試練・問題解決の練習の場ととらえて、家族は悩みを聞いたり話し合ったり、時には見守ったり、励ましたりして応援しましょう。

学年が上がる2年生は、下級生をサポートしたり、集団の中核を担う活動をしたり、学習内容も難しくなったり…充実感がある反面ついつい頑張りすぎたりプレッシャーを感じたりしてはいませんか。お子さんの様子や体調をよく見て“いつもと違う”を感じた時には、さりげなく話しかけたり気分転換を持ちかけたりしてサポートしましょう。

3年生にとっては自分の将来を考える大切な一年。まずは本人の希望や気持ちをよく聴き、家族で話し合ったりして子どもがたてた目標の達成に向けて協力しましょう。話をすることで子ども自身の考え方や態度に成長を感じることがあるのではないのでしょうか。些細なことでも、気づいた時にその思いを伝えたり子どもの長所を話したりすることが、子どもの意欲や自信につながることでしょう。

思春期は心身ともに急激に成長するため、ホルモンバランスが崩れ、気持ちが不安定になりがちです。ストレスが溜まっていないか、身体がダメージを受けていないか、SOSを発信していないかなど、毎日の挨拶やポジティブな声かけ・心のふれ合い等を心がけ、家族のかかわりを大切にしましょう。

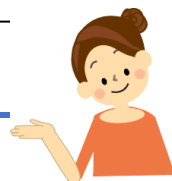
八千代市の家庭教育支援をご存じですか？

生涯学習振興課では、保護者の皆さんが家庭教育についてヒントを得る機会を提供したり、発信したりするなど家庭教育を支援するための取り組みをしています。

家庭教育講演会・・・子育ての専門家を講師にお招きして、子どもの発達に合わせたテーマで、保護者の方を対象に年2回セントラルスポーツ生涯学習プラザで講演会を開催しています。

家庭教育講座・・・親子で参加の体験型です。年1回セントラルスポーツ生涯学習プラザで開催予定です。

昨年度開催した講演会・講座の概要をご紹介します



第1回家庭教育講演会・・・6月27日（木）午後1時～2時30分

演題：子どもを理解する視点を広げよう～感覚統合・心の理論～

講師：臨床心理士 早川 淳子氏

感想：感覚統合が進むことで自分の体を知り、次に他者を知ろうとする方向になって、受け入れる体制が整うことが学べました。また、幼児期に五感を使ってよく遊ぶことが豊かになると言いますがあらためてその重要性を認識しました。

第2回家庭教育講演会・・・11月13日（水）午後1時～2時30分

演題：夢をかなえる食生活～食事で変わる子どもの未来～

講師：管理栄養士 江波戸 史子氏

感想：栄養や食事と健康の大切さについて、分かりやすくお話ししてくれて、とても勉強になりました。朝食の大事さを再認識したので、改善してみようと思いました。

家庭教育講座・・・8月23日（金）午後1時～2時30分

講座名：親子であそぼう！～こどもの世界が広がる遊びとおとなの関わり方～

講師：こどもの育ちとあそびの専門家 しみず みえ氏

感想：こんなに遊びが広がるのかと驚いた。「決まりごとがなく自由に遊ぶ」ことがとても楽しそうで、遊びに対する意識が変わった。遊びを通してワクワクする→集中する→その結果が学びにつながるとうわかった。

「家庭教育」とは…親またはそれに準ずる人が、子どもに対して家庭で行う教育のこと

親（保護者）は、人生最初の教師として、豊かな情操や基本的な生活習慣、家族や他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観や社会的マナー、自制心、自立心などを養う上で、重要な役割を担っています。



身につけさせたい、基本的な生活習慣と規範意識 保護者が自ら手本を示しましょう

子どもが自ら考え、正しい判断ができるように、礼儀や社会のルール、善悪の判断などを身につけさせましょう。そのために、保護者が自ら手本を示せるよう心がけましょう。

この時期は、保護者への依存度が減り、自分自身で考え判断して行動しようとし、それを押さえられると反抗的な態度に出ることがあります。これは自我が芽生えてきて自立が始まった証拠です。保護者は、必要に応じて毅然とした態度をとりつつ、子どもの考えを尊重し、助言したり寄り添ったりするなど、子どもとのコミュニケーションに努めながら、見守りましょう。

生活のリズムが崩れがちになるこの時期は、子どもが朝食を摂ったり睡眠時間を確保したりできるように、サポートすることが大切です。また、SNS などネット利用に関する危険性について家族で話し合い、トラブルに巻き込まれないよう、誰かを傷つけないためにも、ルールを決めて実行させていきましょう。



子どもの個性と夢・希望を与え、主体的に進路を選択できるようにしていきましょう

この時期の子どもたちは、自分を冷静に見つめ自分探しをはじめます。子どもの適性を理解しながら子どもが主体的に進路を考えられるように家族で話し合いましょう。また、地域の行事や催事を大切にするなど、地域にかかわることで、たくましさや豊かな心、社会性が養われ、体験活動を通して自他の生命を尊重するなどの道徳性が育まれます。

子どものやる気や社会へのつながりへの意欲を大切にし、働くことの意義や自分らしい生き方が育まれるように見守っていきましょう。



自主的な家庭学習・読書の習慣を身につけさせましょう

学んだことを確実に定着させるには、計画的に家庭学習に取り組ませることが大切です。

家庭と学校とが「家庭学習を大切にする」という同じ視点に立って子どもを支えていくことで、学習習慣の確立が促され、学力向上につながると考えます。

子どもが自分に合った学習時間を決め毎日継続して取り組めるよう、家庭での学習環境を整えましょう。また、家庭読書（うちどく）をすることで、家族の時間やコミュニケーションが増え、家族の絆が強まります。読む力、理解力、思考力、想像力、表現力、自己決定力など、子どもの将来に必要な生きる力の基盤となる家庭読書（うちどく）の習慣をぜひ身につけさせたいものです。

「一人でなやまず、SOS」カード

つらい時には、ひとりで我慢しないで、“SOS”を出し、話を聞いてもらうなどして、自分をいたわりましょう。

学校から全家庭に配付されているこのカード（名刺サイズ、両面刷り・カラー）には、親子共に使用できる電話相談案内が記載されています。ご活用ください。

家庭教育について

八千代市教育委員会生涯学習振興課の取り組みは、右の二次元コードでご覧いただくか、八千代市ホームページ＞組織でさがす＞教育委員会＞生涯学習振興課からご覧いただけます。

